

2018年2月14日
シーメンス株式会社

シーメンスとキャノン、映像ソリューション領域活用の協業に合意

● 製造業界向けイメージングソリューションにおける協業に合意

シーメンス株式会社(東京都品川区、代表取締役社長兼 CEO: 藤田研一、以下シーメンス)はキャノン株式会社(本社: 東京都大田区、代表取締役会長 CEO: 御手洗 富士夫、以下キャノン)とインダストリー4.0時代の工場の自動化(FA)を支援するシステムソリューションに関して密接に連携していく事で合意しました。

近年、製造業界におけるオートメーション化は工場ネットワークのイーサネット化に伴い、工場におけるネットワーク対応カメラの活用が進みつつあります。キャノンでは映像技術に強みを持つカメラ製品に関して、製品開発・導入検証を行い、その効果を確認してきました。一方、シーメンスはインダストリー4.0時代におけるデジタルエンタープライズコンセプトのもと、デジタル化とオートメーション化を進める製品群をワールドワイドで強力に展開しています。今後両社の強みを持ち寄り、画像活用によるオートメーション化と更なる品質向上を推進する取組みを加速させます。数値データによる収集と分析が主流の生産現場において、映像データと数値データを組み合わせることで分析できる内容が広がり、生産現場の「見える化」と生産性向上を実現します。

<主な協業内容>

- ① キャノンはシーメンス製産業用パソコン SIMATIC IPC をベースに工場ラインへの組み込みが可能な監視・録画システムと画像処理システムを製品化し、2018年3月より発売します。
- ② キャノンのカメラシステムとシーメンスの SIMATIC PLC(プログラマブルロジックコントローラ)および SIMATIC WinCC SCADA(監視制御システム)の連携を通じて最適な撮影タイミング、簡単な画像取り出しと同時に、データの蓄積/活用をオールインワンで実現します。

シーメンス株式会社
東京都品川区大崎 1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー
Reference number: SKK_DF_20180214.jp

- ③ 両社は今後、製造業界向けに様々なアプリケーションを順次市場投入することで、画像を活用した製造革新を推進し生産性の向上に寄与します。

報道機関からのお問い合わせ先:

シーメンス株式会社 コミュニケーション部 今村

TEL: 03-3493-4204 E-mail: masako.imamura@siemens.com

■ シーメンス AG について

シーメンス AG(本社:ベルリンおよびミュンヘン)は、170年にわたり、卓越したエンジニアリング、イノベーション、品質と信頼性、そして国際性を象徴するグローバルなテクノロジー企業でありつづけています。電化、自動化、デジタル化の分野を中心に、世界中で事業を展開しています。シーメンスはエネルギー効率に優れた省資源技術を世界で最も多く提供している企業のひとつであり、効率的な発電および送電ソリューションの主要サプライヤー、そしてインフラストラクチャー・ソリューションならびに産業向け自動化ソリューション、ドライブ・ソリューションとソフトウェア・ソリューションのパイオニアです。さらにシーメンスは、コンピュータ断層撮影装置(CT)や磁気共鳴画像診断装置(MR)などの医用画像診断装置の大手サプライヤーでもあり、臨床検査および医療情報ITのリーダーでもあります。2017年9月末に終了した2017年度において、継続事業の売上高は830億ユーロ、純利益は62億ユーロでした。2017年9月末時点の全世界の社員数は37万7,000人です。詳しい情報は、<http://www.siemens.com>にてご覧いただけます。

■ 日本におけるシーメンスグループ

シーメンスは、1887年に東京・築地に初めてのオフィスを開設して以来、130年にわたり日本のお客様から信頼を寄せられるパートナーとして尽力してまいりました。海外のシーメンス同様、都市化、人口動態、気候変動、グローバル化、そしてデジタル化といったメガトレンドに対して最適なソリューションをご提案しています。シーメンスは先進的な製品やサービス、ソリューションにより、お客様に競争優位性をご提供しつづけるとともに、昨今の環境問題に対応してまいります。2017年9月末に終了した2017年度において、日本のシーメンスの売上高は約1,469億円、社員数はおよそ2,250人です。詳しい情報は <http://www.siemens.com/jp/ja>にてご覧いただけます。